

白神自然環境研究所教授会議事要旨

日 時：平成28年11月22日（火）9時00分～10時20分

場 所：コラボ弘大8階 八甲田ホール（Cホール）

出席者：檜垣所長、殿内、本多、大高、中村、丹波、松山、石田、山岸

欠席者：石川副所長、東、荒井、上條（いずれも委任状提出）

事 務：小田桐、成田、肥後

議事に先立ち、所長から、10月25日開催の教授会議事要旨（案）の確認が行われ、承認された。

【審議事項】

1. 平成28年度事業計画について

所長から、資料1に基づき、平成28年度事業計画について、前回教授会からの変更点（ガイドブック冊子出版事業における内容の変更、及び各事業における参加人数の更新）を中心に提案説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

関連して、所長から、寄贈された細井幸兵衛コレクションの標本整理作業を早急に進めること、研究所教育研究棟前の倒れるおそれがあるカラマツの伐採に係る費用、及びひろだい白神レーダーのメンテナンスに係る費用を来年度の予算要求に盛り込む予定であることの説明があった。

2. 附置研究所見直しに係る白神自然環境研究所の農学生命科学部への移行について

所長から、資料2に基づき、附置研究所見直しに係る白神自然環境研究所の農学生命科学部への移行について、学長からの提案を受けて農学生命科学部教授会において設置したワーキンググループでの検討状況及び今後の予定案などの報告があり、概略次のとおり検討案に対する意見交換が行われた。

- (1) 兼任担当教員との連携については、プロジェクト別に依頼することも想定される。
- (2) 白神自然環境研究所専任担当教員の教育活動における位置付けについて、大学院の改組とも密接に関わるため、検討が必要である。
- (3) 標本保管スペースの問題について、学内に設置することが非常に難しい状況となっているが、他大学や全国の博物館及び資料館の状況や、文部科学省の動向などを調査した上で学外施設の活用も含めて検討してはどうか。
- (4) 理工学研究科で西目屋村の教育研究棟内に寒地気象実験室を設置しているが、農学生命科学部に移行後はどのような取扱いになるのか検討願いたい。
- (5) ワーキンググループの構成は自由に変更可能であるため、今後は農学生命科学部以外の専任担当教員である本研究科兼任担当教員にも議論に参加願いたい。

なお、本件は継続審議とし、12月以降の教授会において具体的な事項について審議していくことが承認された。

【報告事項】

1. 所長報告

所長から、資料3に基づき、概略次のとおり報告があった。

(1) 企画戦略会議

- ① 理事（企画担当）から、平成28年度学部改組及び大学院定員増に係る現状と今後の対応について、各入学試験結果が示され、各部局からの説明及び質疑応答が行われた。
- ② 理事（企画担当）から、教員業績評価における評価項目及び評価基準の見直しについて、部局からの意見及び今後のスケジュールが示された。
- ③ 理事（企画担当）から、第3期中期目標・中期計画及び平成28年度計画の進捗状況について説明があった。

④ 理事（教育担当）から、教員養成部門において、高等学校教員養成の面で人文社会科学部及び農学生命科学部並びに理工学研究科からの協力を強化願いたい旨の依頼があった。

(2) 教育研究評議会

① 海外の大学との大学間交流協定締結について3件承認され、部局間協定にとどまらず大学間協定に発展させるよう依頼があった。

② 地域科学技術実証拠点整備事業に申請することが承認された。

③ 教職大学院の設置計画が認められた旨の報告があった。

④ 平成28年度内部監査（重点監査項目）の結果について、備品シールの貼付を徹底するよう指摘があったことの報告があった。

2. 附属白神自然観察園利用計画について

事務から、資料4に基づき、附属白神自然観察園の施設利用申請のあった3件について報告があった。

なお、11月30日閉園作業を行うため前日の午後から水道を停止すること、西目屋村砂子瀬の通行止め区間における通行許可書の写しをメールで配信していることの補足説明があった。

3. その他

(1) 通信経費の削減について

兼任担当教員から、教育研究棟における通信経費の削減について、検討状況の確認があり、来年度の予算要求書を作成する時期までに検討を進めることが確認された。

以 上

次回以降開催予定	平成28年12月27日（火）9時00分～10時15分
	平成29年1月24日（火）9時00分～10時15分
	平成29年2月28日（火）9時00分～10時15分